

長野県感染症情報(週報)

《情報編》

2026年(令和8年)
第42週
(2026年10月12日～
2026年10月18日)

主な発生動向

○インフルエンザ

インフルエンザの報告数は前週から増加しました(前週:7.84人/定点→今週:8.28人/定点)。

○新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症の報告数は前週から減少しました(前週:2.54人/定点→今週:1.78人/定点)。

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症ともに、日頃から体調に気を付け、下記のような「かからない・うつさない」ための感染対策を心掛けましょう。

- ・外出後には流水・石けんによる手洗い、アルコール製剤による手指消毒を行いましょう。
- ・室内のこまめな換気を行いましょう。
- ・人混みへ出かける際、マスクの着用は一つの予防策として有効です。
- ・症状がある場合は、
場面に応じたマスクの着脱、咳エチケットを心掛けましょう。
また、登校や出勤を控え、早めの受診を検討してください。

◇インフルエンザの保健所別報告数◇

	定点数	定点当たり報告数(人)				
		38週	39週	40週	41週	42週
佐久	5	4.20	4.80	6.60	5.80	6.80
上田	5	1.20	5.80	7.20	14.80	10.20
諏訪	5	4.20	5.00	10.20	11.80	14.80
伊那	4	6.25	4.25	7.25	5.00	11.50
飯田	3	14.33	2.00	21.33	14.33	11.00
木曽	2	1.50	7.00	3.00	2.50	4.00
松本	4	7.75	4.00	10.00	6.25	5.75
大町	2	5.00	3.50	0.50	1.00	2.00
長野	4	2.25	7.25	5.25	7.50	7.50
北信	2	15.50	27.50	3.50	4.50	4.00
長野市	9	12.00	4.67	7.11	6.22	6.00
松本市	5	5.50	4.60	8.20	8.00	9.80
全県	50	6.73	5.74	7.86	7.84	8.28

参考: 注意報の基準値:10人以上30人未満

警報の基準値 :30人以上

【ダニ媒介感染症に注意しましょう】(詳細は別紙をご覧ください)

マダニは春から秋にかけて活動が盛んであり、この時期も注意が必要です。
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は、西日本を中心に患者報告がありますが、近年は報告地域が拡大しています。
引き続き、マダニに刺されないように、草むらや藪に入る際は、肌の露出が少ない服装を心掛けましょう。
マダニに刺された場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診し処置を受けてください。
刺された後は、数週間程度、体調の変化に注意し、発熱等の症状が現れた場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。
また、ペットから感染しないために、外出後は、ペットにもマダニが付着していないか確認しましょう。
ペットが体調不良の際は、早めに獣医師へ相談してください。

【SFTS発生状況】

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	R8(2026)*
長野県	0	0	0	0	0	0	0	2
全国	101	78	110	118	134	122	191	155

※長野県:第42週(10/12～18)時点、全国:第41週(10/5～11)時点

全数把握感染症

類型	報告疾患・報告数
一類感染症	なし
二類感染症	結核1例
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1例
四類感染症	E型肝炎1例、重症熱性血小板減少症候群1例、レジオネラ症1例
五類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例

定点把握感染症

◆定点当たりの報告数(今週の主な感染症)

感染症名	今週	前週比	1週前	2週前
インフルエンザ	8.28	105.6%	7.84	7.86
感染性胃腸炎	3.61	87.8%	4.11	4.57
新型コロナウイルス感染症	1.78	70.1%	2.54	2.64
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.18	75.2%	1.57	0.54
RSウイルス	0.96	157.4%	0.61	0.54
急性呼吸器感染症(ARI)	66.06	89.9%	73.46	65.44

○速報値のため今後の集計で変更が生じることがあります。

○厚生労働省「インフルエンザ(総合ページ)」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html

○「学校等のインフルエンザ様疾患による休業状況」

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shippei-kansen/kenko/kenko/kansensho/joho/influ2.html>

○厚生労働省「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.html>

第43週は、10月28日(水)発行予定です。

(問合せ先)

担当 長野県健康福祉部疾病・感染症対策課
山口

電話 026-235-7148(直通)

026-232-0111(代表) 内線 4135

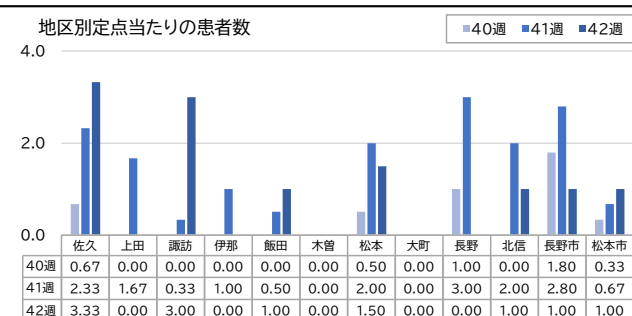
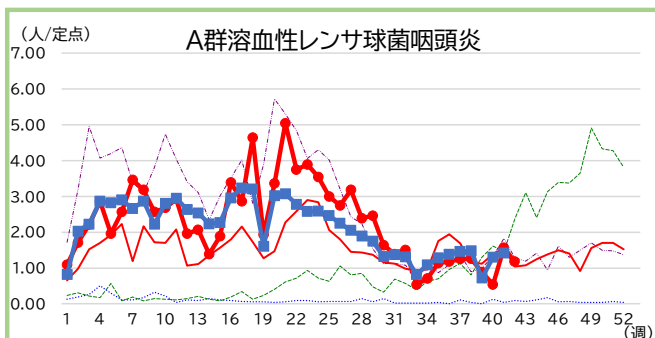
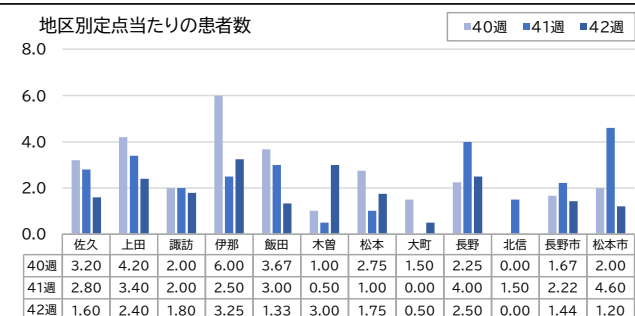
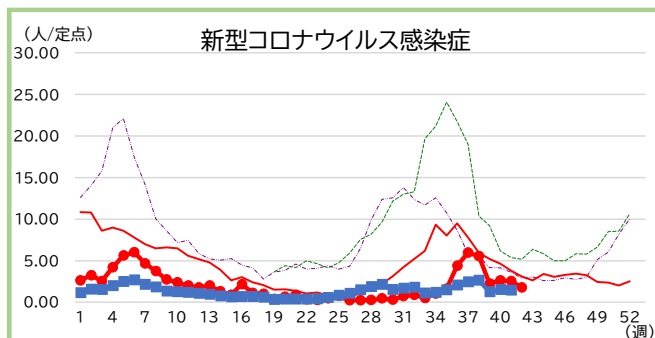
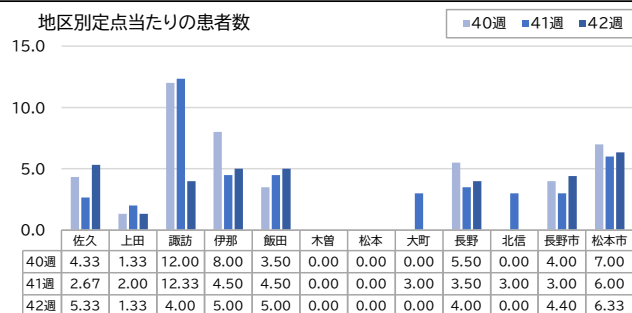
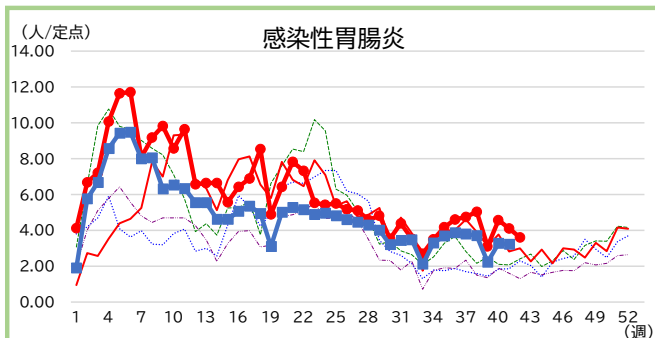
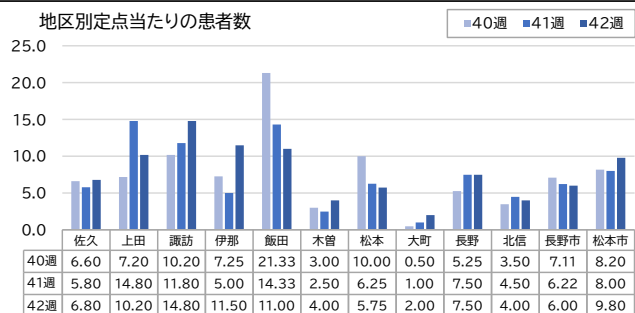
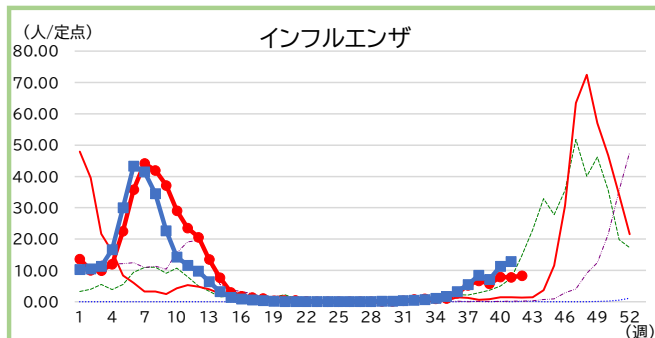
ファクシ 026-235-7334

Email kansen@pref.nagano.lg.jp

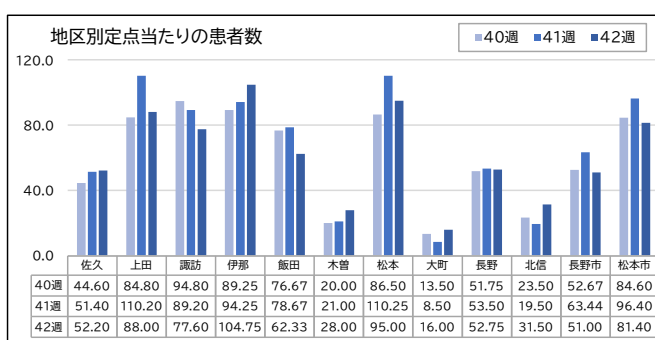
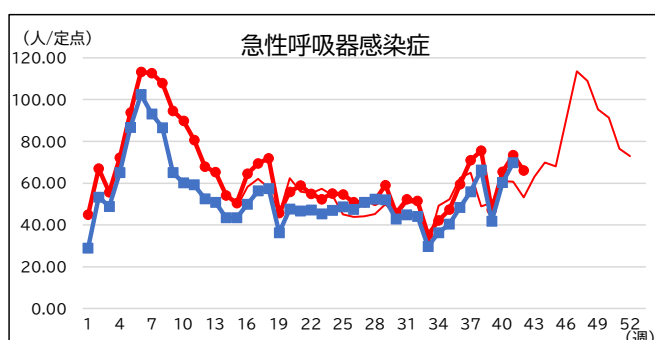
注意が必要な感染症の推移

定点把握疾患4疾患

● 県2022 ● 県2023 ● 県2024
● 県2025 ● 県2026 ■ 国2026



急性呼吸器感染症(ARI)の推移



重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について

2026 年（令和 8 年）10 月 21 日
長野県健康福祉部疾病・感染症対策課

SFTS とは

■ SFTS について

- 重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome : SFTS）とは、主に病原体（SFTS ウイルス）を保有しているマダニに刺されることにより感染するダニ媒介感染症です。
- マダニに刺されてから 6 日～2 週間後に症状が出現します。
- 主な症状は発熱、消化器症状（嘔吐、下痢等）であり、重症例では死に至る可能性があります。（各種調査によると致死率は最大 30% 程度とされています）

■ 発生状況について

- 2026 年第 41 週までの今年の全国累計届出数は 155 件です。
- SFTS の患者は西日本を中心に報告されていますが、徐々に報告地域が拡大しており、長野県においても 2 件報告されています（2026 年第 42 週時点）。

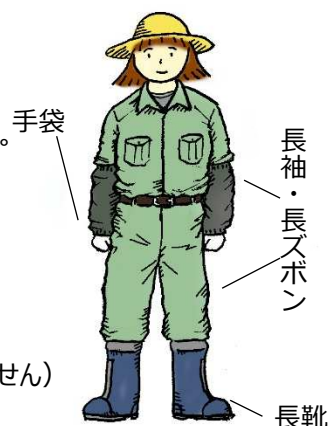
■ 感染経路

- SFTS ウイルスを保有するマダニに刺されることで感染します。
- SFTS ウイルスに感染し発症している動物（ペットの犬・猫等を含む）の体液に接触することで感染することもあります。
- SFTS ウイルスに感染した患者の体液に直接触れる機会のあった医療従事者が感染した報告もあります。

予防方法

■ マダニに刺されないように注意しましょう

- マダニは山林や草むら、藪、畑などに生息しており、春から秋にかけて活動が盛んになります。
- 草むらや藪などに入る際は、長袖・長ズボン・足を完全に覆う靴等を着用し、肌の露出を少なくしましょう。（農作業やハイキングなどの際にも注意が必要です）
- マダニの付着を目視で確認しやすくするために、服は明るい色のものがお勧めです。
- 虫よけ剤（ディート、イカリジン）を使用しましょう。
（※虫よけ剤はマダニの付着数を減少しますが、マダニの付着を完全に防ぐわけではありません）
- 野外活動後はマダニを家の中に持ち込まないように屋外で上着や作業着を脱ぎましょう。
- シャワーや入浴時にマダニに刺されていないか確認しましょう。



■ マダニに刺されたときの対応

- マダニに刺された場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診し処置してもらいましょう。
- マダニに刺された後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が現れた場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。受診の際はマダニに刺されたことを伝えてください。

■ 動物（ペットなど）からの感染に注意しましょう

- ペットが外から戻ってきた際は、マダニが付着していないか確認し、付着している場合は適切に駆除しましょう。
- 動物が体調不良の際には、咬まれたり舐められたりしないよう注意したうえで、動物病院を受診させましょう。また、ペットがマダニに刺されないように駆除・防虫薬の使用について獣医師に相談しましょう。
- ペットの犬や猫にマダニの駆除・防虫薬を使用し、動物が体調不良の際には、動物病院を受診させましょう。
- 動物を飼育している場合、過剰な触れ合い（口移しでエサを与えたり、動物を布団に入れて寝たりすること等）は控え、触れ合い後は必ず手を洗いましょう。

〔参考〕

「ダニの感染症に注意しましょう！」（長野県）<https://www.pref.nagano.lg.jp/shippei-kansen/kenko/kenko/kansensho/joho/dani.html>
「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について」（厚生労働省）<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.html>